

計画は具体的に
実現性のあるものに

井上 博

一般質問

【問】 昨今、基本計画を戦略的に進めるための実施計画が抽象的な内容にとどまっております。詳細な内容が示されていないように思える。本年3月に策定されたシティセールスプランについて、その趣旨や目的は理解できるが、推進体制や取り組み方針が明確でない。

【答】 具体的な内容や数値目標、いつまでにどの項目をどのような手法で行うのかなどを示す必要があると考えるがどうか。

【答】 今年度は、ポスターや各種PRグッズ、動画の制作、SNSを活用したPR活動などを行う。

現在、これらの事業を実施するにあたり、広告宣伝のノウハウを持つ事業者から企画提案を募集している。市の定めたブランドメッセージやロゴマークを活用するなど、シティセールスプランとの整合を図りつつ、広報や広告、その他PR戦略などの専門的な視点を取り入れる。

また、この事業がどの程度効果をあげているのか検証する必要がある。市民のまちに対する意識や、市外の方による岸和田の資源の認知度、来訪意識、居住意欲、まちのイメージがどのように変わっていくのかなどをアンケートを通じて調査し、事業評価を行う。

あらゆる方法で
待機児童の解消を

鳥野 隆生

一般質問

【問】 平成27年4月より、子ども・子育て支援新制度が開始された。そのうち、特に待機児童解消に向けた取り組みの現状と今後の対策について聞きたい。

【答】 現在、子ども・子育て支援事業計画により、公立幼稚園での3歳児クラスの設定やアフタースクール等の時間延長、小学校でのチャイルドホームの増設、保育所の分園や増築、小規模保育事業などに取り組んでいる。

今後、教育・保育の量の見込みの推移を見ながら、待機児童が解消できるのか検証するとともに、事業計画の見直しも図っていく。

長期にわたる構想
今後の展開は

今口 千代子

一般質問

【問】 春木駅周辺まちづくり基本構想が策定されるが、現在の地域整備構想にある鉄道高架化事業や駅前再整備事業はどのように進めていくのか。

【答】 鉄道高架化事業については、鉄道事業者や大阪府など多くの協力のもと、多額の費用と長期間を要する。

また、駅前再整備事業については、過去の調査・検討内容をふまえつつ、現在の市民ニーズや社会情勢に応じた検討が必要である。

地元住民の意見をふまえ、中長期的なまちづくり構想と短中期的に取り組む事業について議論し、計画的か

地域の活動拠点
早急な建て替えを

その他の質問 ○公立幼稚園3年保育の現状と今後 桑原 佳一

一般質問

【問】 老朽化の進む城北地区公民館は、平常時においても、体育館の下屋根の一部が落下したり、ブロック塀が崩壊するなど、非常に危険な状態である。また、耐震化のできない避難所でもある。周辺施設と集約し、建て替える必要があると考えるがどうか。

【答】 館の維持、保全などについて、これまでブロック塀や軒天の修繕などを行ってきた。

今後、機能を保持し、公民館活動を継続できるように、施設の計画的な保全に向け、協議していく。また、周辺施設との集約、建て替えについても協議していく。

子どもに寄り添い
食育の推進を

井舎 英生

一般質問

【問】 4月からアレルギーのある児童への給食対応が変化し、給食を食べられない日数が激増した。

給食は大切な義務教育の一環である。教育委員会の対応について聞きたい。

【答】 食物アレルギー対応委員会、学識経験者や保護者の意見を聞き検証している。今後も安全性を十分確保しつつ、食物アレルギーのある児童・生徒にもできる限り給食を提供したい。

【問】 今年3月末時点の借入残高は、1593億円である。支払利息28億円を少なくするため、より金利の低い市債に借り換えるべきと考えるがどうか。

【答】 以前、特例措置として、財政健全化に取り組むことを条件に、高利率の借入金について、繰上償還による借り換えを実施し、利息の低減を図った。

さらなる財政負担に

京西 且哲

一般質問

【問】 財政健全化が急務として、行財政新改革プランの目標達成に市を挙げて取り組んでいる。

競輪場は、その収益で市の財政を補完することを目的に設置されている。しかし、昨年12月の議会でも、競輪場の全面建て替えに100億円超の巨額を投じる関連議案が唐突に提案された。

競輪事業に長期の展望が見えないなか、財政負担を拡大するのではなく、収益の向上に取り組むべきと考えるがどうか。

また、市民に約束した競輪場の耐震化計画からの大きな変更や、場外馬券売り

【答】 以前、特例措置として、財政健全化に取り組むことを条件に、高利率の借入金について、繰上償還による借り換えを実施し、利息の低減を図った。

今後、こうした特例措置が継続的に実施されるよう、国に対し要望していく。

【問】 100億円余りの巨額を投じる競輪場再整備計画は、市民の十分な理解が必要である。急がず十分議論すべきと考えるがどうか。

【答】 周辺の4校区長と関係町会長で構成する協議会で協議している。また、要望のある町会には、別途説明会を開催している。今後、協議を重ねながら進める。

場の新設などについて、市長は市内全域でタウンミーティングを開き、説明すべきと考えるがどうか。

【答】 集客力に応じた施設に再編し、事業の効率化を進め、持続的で安定した競輪事業運営が可能な施設整備を検討した。

その結果、現施設を耐震改修しても、補修のための費用がかかるが、民間活力を導入し再整備すれば、長期的な視点で財政負担を軽減できると考えた。財源については、場外馬券の発売により、確保できると考える。

また、地域の声を聞くことは重要であると考えている。